

(2018-2019 年度)

第2回複合地区会則委員長連絡会議要録

◎日 時: 2018年11月8日(木) 13:35-16:10

◎場 所: 一般社団法人日本ライオンズ(東京・八重洲)

◎出席者: 各複合地区委員長

330複合地区会則委員長	秋 山 詔 樹
331複合地区会則委員長	山 口 富 雄 (副世話人)
332複合地区会則委員長	佐 藤 義 則 (世話人)
333複合地区会則委員長	松 本 元 良
334複合地区会則委員長	増 田 悌 造
335複合地区会則委員長	三 宮 秀 介 (副世話人)
336複合地区会則委員長	尾 崎 博

その他の出席者

国際理事会LCIFアポインティ・LCIF理事会開発委員長、
LCIFキャンペーン100国際委員長、元国際会長 山 田 實 紘

国際理事(2017-2019)	佐 藤 義 雄
議長連絡会議世話人	識 名 安 信
330複合地区協議会議長	今 井 文 彦
331複合地区協議会議長	石 岡 憲 義

- ・ 13:35、佐藤義則会則委員長連絡会議世話人より開会。
- ・ MD337麻生好彦会則委員長及び一般社団法人日本ライオンズ会則委員会に所属される333-E地区根本昌卓ガバナー、335-B地区吉村弘吉ガバナー、337-D地区曾山純廣ガバナーは欠席された。
- ・ 佐藤会議世話人から山田實紘元国際会長が紹介され、挨拶あり。国際本部における日本のライオンズの立ち位置や日本にOSEAL調整事務局が開設された経緯が説明された。
- ・ 各出席者から自己紹介あり。続いて、佐藤義雄国際理事から、会則会議運営について社団の意向に沿った方向性を示してほしいとの挨拶あり。
- ・ 佐藤会議世話人から、第1回会議要録作成に時間がかかった経緯の説明あり。第2回会議以降は前年通り事務局が用意した下案に世話人が手を入れて、各委員長に配布する事が提案された。了承。

◎議 事:

1. 前回会議要録の確認

9月13日に行われた第1回会議要録(資料1)について、各委員長から意見が出された。連絡会議であることから、「決議」の文言を使用することは控えるべきであるとの指摘あり。また、ライオンズ必携第58版作成にあたり、初校ゲラ刷り一式が全委員長に送付されたが、前文の一部を削除することについては全委員長の同意ではなかったのではないかと質問あり。

そこで本日の第2回会議において、改めてライオンズ必携第58版前文の段落削除について全委員長が同意したことを確認した。第1回会議要録4ページ目の文言を修正する。

修正前: 全委員長同意の変更箇所:

修正後: 全委員長が下記の通り削除することに同意した。

2. 秋季国際理事会について

2018年10月14日～17日、米国カリフォルニア州オーハイで行われた秋季国際理事会について佐藤国際理事から報告あり。所属の大会委員会でロブレスキー委員長のもと、副委員長を務めている。第101回ラスベガス国際大会の反省事項としては、大変な暑さに体調を崩した人が85名、内3名は病院へ搬送されたが、すぐに回復されたことがあった。第102回ミラノ国際大会の事前登録者数は323名となっており、日本のライオンズに800名の代議員派遣が要請されている。また、国際大会の運営収支が赤字続きとなっていることから、チョイ第1副会長より大会登録料を値上げして収支を改善する案が出ている。

国際協会ウェブサイトリニューアル画面コピー(資料2)配布。

3. 日本における一般社団法人日本ライオンズの立ち位置の変更に伴うライオンズ及び役員必携の変更について

(1) 山田元国際会長から、2018年11月5日付けエイミーJ.ペーニャ法律顧問の書簡(英語・日本語)コピーおよびライオンズクラブ財団年次報告書冊子が配られた。

書簡本文

Thank you for your inquiry. I acknowledge that the Social Incorporation of Japan Lions has been recognized as an entity allowed to use the Lions name and logo, and it does not conflict with the Association's Constitution and policies. I hope that this information is helpful.

お問い合わせをいただき、ありがとうございました。一般社団法人日本ライオンズは、国際協会からライオンズの名称と紋章を使用する許可を得ている団体であることを確認するとともに、国際協会の会則および方針と抵触するものではないことを確認し、お知らせ申し上げます。以上の情報がお役に立つことを願っております。

(2) 2018年8月20日の一般社団法人日本ライオンズ第1回社員総会で採択された新しい組織図が、10月25日の第2回社員総会で一部修正が加えられた組織図(資料3-(1))配布。GAT委員会とLCIF委員会が組織図から外された理由は、国際本部のGAT組織図が修正されたためであることを確認した。

また、組織図トップの社員総会(全国ガバナー会/年4回)の下に理事長→理事会→執行理事会→委員会が配置され、さらに理事会と並行して監事、相談役、参与(IP推薦の日本代表、GLT、GMT、GST、FWT、キャンペーン100代表等)が設けられている点について質疑応答あり。

(3) 一般社団法人日本ライオンズの各委員会は、アラート委員会、ライオンズクエスト委員会、YCE・薬物乱用防止委員会、国際大会委員会、会則委員会、国際理事候補者推薦委員会、PRマーケティング委員会(ライオン誌日本語版委員会)、2020東京オリンピック・パラリンピック委員会に分かれており、議長と地区ガバナーが所属している(資料3-(2))配布。アラート委員会には協議会議長8名全員が所属し、その他の委員会には各議長が分かれて配属されている。会則委員会には石岡議長が所属され、石岡議長から発言あり。

(4) 一般社団法人日本ライオンズ組織図改変に関わる詳細が、各クラブや各会員に伝達されていないため混乱している現況について、各委員長から忌憚のない意見が出された。新組織図に移行している今年度の状況を次年度に引継ぎするためには、**全国ガバナー**

会の場合、次期ガバナーを務める現第1副地区ガバナーの出席を認めるべきとの提案があり、全委員長が同意された。

(5) 佐藤会議世話人からは、ライオンズ必携及び役員必携の改訂ページ(資料3-(3))が提案された。各委員長が持ち帰って内容を検討する。

(6) 松本委員長からは、藤川議長と連名の書面を添えた333複合地区としての意見及び質問(資料3-(4))が出された。

日本における一般社団法人日本ライオンズの立ち位置の変更に伴うライオンズ及び役員必携の変更について333複合地区としての意見及び質問

(1) 2018年8月20日に一般社団法人日本ライオンズにおいて組織図が承認されました。その組織図では、社員総会及び理事長がガバナー協議会議長で構成する理事会の上に位置しています。

この組織図では定款の第2章目的及び事業(目的)第3条「～適正・迅速なる適正・迅速なる情報の交換を図りつつ複合地区ガバナー協議会をサポートし、～」で規定されているサポート的立場から外れていると思われま

す。定款を遵守するのか、逆に定款の変更を図るのか、今後の方向性をお知らせください。

(2) 333複合地区は2015-2016年の議長会申し合せ事項及び年の議長会申し合せ事項及び2016年2月26日付資料「一般社団法人設立の基本コンセプト」「一般社団法人日本ライオンズ定款の骨子」「法人化の解説」「一般社団法人日本ライオンズ組織図」に基づき、複合地区会則の改正『一般社団法人日本ライオンズの設立』を第62回複合地区年次大会で承認いたしました。

複合地区において承認された内容が、複合地区年次大会に諮ることなく崩壊的に変更されては、複合地区ガバナー協議会をサポートしているとは言えないと思いますが、いかがでしょうか。

一般社団法人日本ライオンズ定款が変更される場合は、各クラブへ伝達してほしいことや複合地区ガバナー協議会へのサポートについて補足説明あり。

(7) 山田元国際会長から、国際理事会の委員会構成や会議運営の説明とともに、日本のライオンズもこれまでのやり方を刷新して国際レベルで活躍できるように組織が形づけられているとの感想あり。現職地区ガバナーが社団の各委員会に入っただけだが、ガバナーは地区運営で多忙であるので、現職議長が各委員会の委員長を務めるほうが望ましいことや各委員会の構成人数は偏りがないように調整が必要であろうとの意見あり。

(8) 本議案は継続審議とする。早急に各委員長が複合地区として意見・提案書を取りまとめ、次回第3回会議において検討する。

4. 会則委員会の開催回数とその準備について

佐藤会則世話人から、前掲議案3により、今年度の会則委員長会議は会議規程に従い原則年4回を開催するものとし、年4回の会議では十分な審議が足りない判断したときは追加の会議開催を行うことが提案された。了承。

5. 次回会議

第3回会議 2018年12月13日(木) 13:30-16:00 於:一般社団法人日本ライオンズ

各委員長は、複合地区の意見や提案を書面にまとめ、12月10日(月)必着で事務局へ送付する。第3回会議において、各複合地区からの意見・提案書を検討する。

16:10、佐藤会議世話人により閉会。

以上